

## 単元名 わたしたちの表げん

配当時間 2時間

- 単元の目標 (1) 曲想と旋律など音楽の構造と関わり、曲想と歌詞の内容との関わりに気付くとともに、互いの歌声や音、伴奏を聴き、声や音を合わせて歌ったり演奏したりする技能を身に付けることができる。
- (2) 歌声や楽器の音色、音の重なりを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかや演奏するかについて思いや意図をもつことができる。
- (3) 声や音を合わせて歌ったり演奏したりすることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、1年間の学習を生かして、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとする。

## 標準的な展開例

04070303\_001

【教材名】 こきょうの春（歌唱 器楽） グッデーグッバイ（歌唱） （P. 54～P. 55）

【準備等】 範唱CD，リコーダー

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1～3 「ラ クンパルシータ」を、楽曲に合った工夫をして合奏する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 曲想や特徴を捉える。</li> <li>★ パートの役割を生かして生き生きとえんそうしよう <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 範奏を聴き、曲の感じをつかむ。</li> </ul> </li> <li>○ 鍵盤ハーモニカの1のパートを演奏する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 休符に気を付けながら、範奏に合わせて階名唱したり運指唱したりする。</li> <li>・ シャープとナチュラルの意味を理解する。</li> <li>・ 鍵盤で「#ソ」の位置を確認し、ゆっくり練習する。</li> <li>・ 範奏に合わせて演奏する。</li> </ul> </li> <li>○ 鍵盤ハーモニカの2パートを演奏する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 休符に気を付けながら、範奏に合わせて階名唱したり運指唱したりする。</li> <li>・ 鍵盤でレ#の位置を確認し、ゆっくり練習する。</li> <li>・ 慣れたら、範奏に合わせて演奏する。</li> </ul> </li> <li>○ 鍵盤ハーモニカの1・2パートを合わせて演奏する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ クラスを2パートに分け、担当を決めて演奏する。</li> <li>・ リズム伴奏を加えて演奏する。</li> </ul> </li> <li>○ 鍵盤ハーモニカとリコーダーパートを合わせる。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ リコーダーパート1を階名唱して、練習する。</li> <li>・ リコーダーパート2を階名唱して、練習する。</li> <li>・ クラスを2パートに分け、演奏する。</li> <li>・ クラスを4パートに分け、鍵盤ハーモニカ1・2，リコーダー1・2で演奏する。</li> <li>・ リコーダーの役割について考え、強弱記号をもとに強弱やバランスを工夫する。</li> </ul> </li> <li>○ 担当するパートを決めて練習する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ パートごとに集まって練習する。</li> <li>・ 木琴や低音パートは階名唱し、鍵盤を確かめ、拍ののって楽器で練習する。</li> <li>・ パートごとの役割について、気付いたことを交流する</li> </ul> </li> <li>○ パートの関わり合いや役割を生かして演奏する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 速さや強弱、音のバランスなどに気を付けて合奏する</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ タンゴという踊りの曲である。</li> <li>・ 重厚保感のある情熱的な曲想を感じ取らせる</li> <li>・ 黒板や書画カメラで鍵盤を掲示する。</li> <li>・ 教師がゆっくりと拍打ちをして、合わせて歌ったり演奏したりさせてもよい。</li> <li>・ スタッカートについて復習する。</li> <li>・ リピート記号は既習の「お祭りや民ようめぐり」の「おどれサンバ」で学習している繰り返し記号である。</li> <li>・ 楽譜の見方を理解するために、曲に合わせてそれぞれのパートの旋律を指でなぞるとよい</li> <li>・ 鍵盤ハーモニカのパートが2つあり、メロディーが掛け合いになっていることに気付かせる。</li> <li>・ 小説の始めの8分休符を意識させる。</li> <li>・ パートリーダーを決めると、練習が進めやすい。</li> <li>・ 練習できる部屋が複数確保できるとよい。</li> <li>・ 1と2のパートが掛け合いをしていることに気付かせる。</li> <li>・ 主旋律が通るように演奏させる。</li> <li>【評】 音色に気を付け、互いの音を聴いて、音を合わせて演奏する活動を通して「技能」を評価する。</li> <li>・ 最初の合奏は、速さやリズムをそろえて演奏することを中心に行う。</li> <li>・ 同じようなリズムや旋律があるパートを取り出して合わせる練習により、それぞれの役割がはっきりしてくる。</li> <li>・ 互いに音を聴きながら、速さをそろえて合奏させる。</li> <li>【新出】 リコーダー「ソ#」の運指</li> <li>・ リズムを打楽器で打つパートをつくってもよい。</li> <li>・ 教師がゆっくりと拍打ちをして、合わせて歌ったり演奏したりして支援する。</li> <li>・ 木琴のパートは、階名唱の際から強弱に気を付けるようにさせる。</li> <li>【共通事項】 フレーズ 強弱</li> <li>【評】 曲想と声部の役割など音楽の構造との関わりを捉える活動を通して「知識」を評価する。</li> <li>・ 同じパートで息を合わせるとともに、他のパートの音もよく聴きながら演奏させる。</li> <li>・ 木琴は前半は主旋律であり、後半イから和音になる。和音部分のクレシェンドの効果を感じ取らせる。</li> <li>【共通事項】 音楽の縦と横との関係</li> <li>【評】 曲想や各声部の役割に合った表現をする活動を通して「主体的に学習に取り組む態度</li> </ul>

- 全員やグループで合奏する。
  - ・全員で合わせる。
  - ・鍵盤ハーモニカとリコーダーは1パート2～3人ずつ前に出て、ほかの楽器は交代しながら合わせて演奏し、聴き合う。
  - ・各楽器のバランスに気を付けて演奏する。
- 1 「こきょうの春」を、音の重なりを楽しみながら、工夫して表現する。
  - 主旋律を歌詞唱する。
  - ★気持ちを合わせて美しいひびきでえんそうしよう
    - ・範唱を聴き、曲の感じをつかむ。
    - ・歌詞唱して旋律を覚える。
- 上声部をリコーダーで演奏し、ふさわしい響きについて考える。
  - ・階名唱する。
  - ・高い音の響きに気を付け、1段ずつ練習する。
- 下声部をリコーダーで練習し、役割やふさわしい響きについて考える。
  - ・下声部を階名唱する。
  - ・上声部と下声部の旋律のリズムを確認して演奏し、同じリズムで動いていることを知る。
- 二部合奏する。
  - ・二つのグループに分かれ、クラス全体で合わせる。
  - ・上パートと下パートの担当を交代する。
  - ・曲の山について確認する。
  - ・8人ぐらいのグループをつくり、グループ内で担当を決めて、合奏する。
  - ・発表して聴き合い、意見を交流する。
- 学校の中で流れている音楽について意見を交流する。
  - ・どんなところでどんな音楽が流れていたか、出し合う
  - ・どんな音楽でどんな気持ちになったか、覚えていることを交流する。
  - ・1年間の音楽の学習について振り返る。
- 2 「グッデー グッバイ」を、互いに声を聴き合い、声の重なりを楽しみながら合唱する。
  - 主旋律を歌詞唱する。
    - ・範唱を聴き、曲の感じをつかむ。
    - ・歌詞唱して歌詞と旋律を覚える。
    - ・全音符とタイを確認する。
  - 主旋律の歌い方を工夫する。
    - ・旋律のリズムの特徴について考える。
    - ・2拍目と4拍目に手拍子を入れながら歌ってみて、全体にリズムカルな雰囲気を出しながら、3段目の休符によるシンコペーションを確認する。
    - ・歌詞の内容と曲の山について考え、意見を出し合いながら歌い方を工夫する。
  - 副次的旋律を練習し、役割やふさわしい歌い方について考える。
    - ・3段目の副次的旋律を歌詞唱する。
  - 二部合唱する。
    - ・二つのグループに分かれてパートを分け、全体で合わせる。
    - ・パートを交代する。
    - ・曲の山について確認する。
    - ・8人ぐらいのグループをつくり、合唱する。
    - ・誰に向かって思いを伝えたいか考える。
    - ・発表して聴き合い、意見を交換する。

」を評価する。

- ・演奏する人を交替させ、聴き合ったり気付いたことを出し合ったりさせる。

【評】フレーズの呼びかけ合いや音の重なりを聴き取り、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考えながら、曲想にふさわしい表現を工夫する活動を通して「思考・判断・表現」を評価する。

- ・心地よい春の雰囲気をイメージさせる。
  - ・旋律が、なめらかに起伏していることを伝える。
  - ・発声に気を付けて歌わせる。高い音は無理せず、歌えるところを歌うように配慮する。
- 【評】曲想と旋律など音楽の構造との関わり、曲想と歌詞の内容との関わりを捉える活動を通して「知識」を評価する。
- ・低いドの指づかいを確認する。
  - ・なめらかに演奏するために、やわらかいタンギングができるようにさせる。
  - ・旋律が続く感じが、落ち着く感じかを確認する。
  - ・旋律のまとまりについて考えさせ、ブレスを意識して演奏させる。
- 【共通事項】旋律 フレーズ

- ・全員が両方のパートを確認するようにする。
  - ・1パート4人ずつを目安にまとめる。
  - ・時間があれば二重奏を行ってもよい。
  - ・聴き合って、1パート1人ずつで響きのバランスをとらせる。
- 【評】互いの歌声や音、伴奏を聴き、声や音を合わせて歌ったり演奏したりする活動を通して「技能」を評価する。
- ・朝の時間、給食、昼休み、放課後などを想起させる。

- ・3段目に高い音がある。無理せず歌える音域を歌うようにさせる。

- ・スウィングのリズムを確認する。
- ・アウトビートの手拍子を入れると、2拍目の8分休符を意識しやすい。
- ・気付いた要素は、教科書のメモ欄に書き留めさせてもよい。

- ・上声部と下声部の旋律のリズムを確認して演奏させ、下声部が同じリズムで動いて支えていることを知らせる。
  - ・拍にのって歌うようにさせる。
  - ・全員が両方の声部を確認するようにする。
  - ・1声部4人ずつを目安にまとめる。
  - ・聴き合って、響きのバランスをとる。
- 【評】歌声や楽器の音色、音の重なりを聴き取り、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想にふさわしい表現を工夫する活動を通して「思考・判断・表現」を評価する。
- 【評】声や音を合わせて歌ったり演奏したりする活動を通して「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。

【 備 考 】